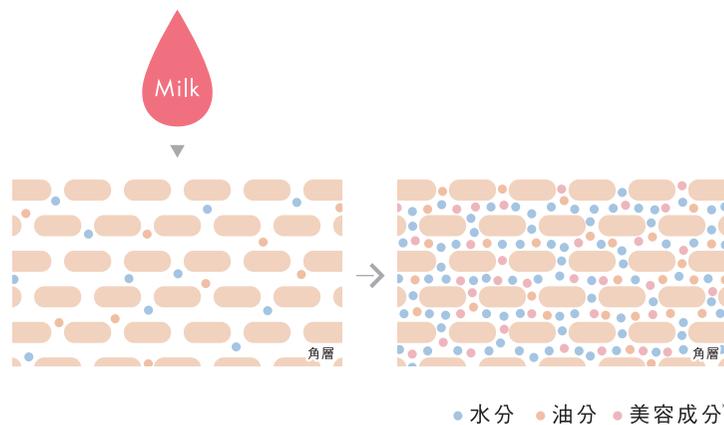


# ミルクは必要なの？ クリームとの使い分けは？

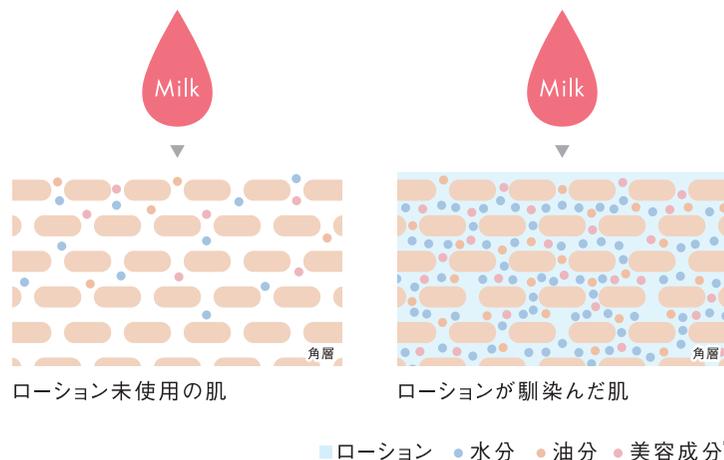
## バランスの良い保湿感と 後肌感の両立

ミルクは「水分」と「油分」と「美容成分」をバランスよく配合しているため、うるおいを保ち、べたつかずハリのある肌へと整えます。



## うるおいのある 「やわらかい肌」へ整える

ミルクはローションと相性(なじみ)の良い油分を配合しており、先にローションがなじんだ肌の角層すみずみまで浸透し、うるおいを抱え込みます。また、角層を滑らかにやわらかく整え、うるおいのある肌へと整えます。



BASIC CARE



## ローションとクリームの ブリッジ役

ミルクは、ローションとクリームの両方になじみのよい「水分」と「油分」を含むため、2つの間で「ブリッジ」のような役割を果たします。ミルクよりも油分の多いクリームは、スキンケアの最後のステップとして油分と水分のふたをしてあげるといった役割を果たします。このように、それぞれ役割が異なるため、目指す肌に合わせて、ミルクとクリームを取り入れていただくことをおすすめいたします。

